

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	5:人と自然が調和するまち
施策の大綱【政策】	3:環境への負荷が少ない持続可能なまちづくり
分野	42:地球環境
具体的な施策【施策】	97:地球温暖化対策の推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅用太陽光発電システムと蓄電池設置に対する支援をはじめ、省エネ機器などに関する情報提供を行うなど、市民・事業者の地球温暖化対策の促進を図ります。 ・地球温暖化防止対策実行計画に基づき、本市も省エネ・省資源対策を進めるとともに、市有施設への再生可能エネルギーの導入を図ります。

1	担当課かい名	市民環境部 環境課
	現状（進捗状況）	住宅用太陽光発電システム及び蓄電池設置に対する補助を行うとともに、エコエイトやつしろ等の市有施設に再生可能エネルギー設備を導入した。また、第3次八代市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を策定し、全庁的な省エネ・省資源対策の推進を図った。
	施策の進捗度	S（着実に進捗している）
	課題	住宅用太陽光発電システムは、順調に普及してきており、また、近年、蓄電池設置に対するニーズが高くなっている状況にある。
	第2期計画の方向性	地域レベルで温室効果ガスの排出削減を図るため、市民・事業者への周知啓発や情報提供を行うとともに、再生可能エネルギーの普及・利用を促進する。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	5:人と自然が調和するまち
施策の大綱【政策】	3:環境への負荷が少ない持続可能なまちづくり
分野	42:地球環境
具体的な施策【施策】	98:再生可能エネルギーの普及
施策の内容	・再生可能エネルギーの普及促進に関する情報提供や普及啓発に努めます。

1	担当課かい名	市民環境部 環境課
	現状（進捗状況）	再生可能エネルギーの普及に関する情報提供や相談に対する助言を行った。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	「2050年カーボンニュートラル」を取り巻く国や県等の動きを踏まえ、市としても再生可能エネルギーの普及等の取組について検討・実施していく必要がある。
	第2期計画の方向性	再生可能エネルギーの普及方策について検討を進める。
	備考・コメント	

2	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	5:人と自然が調和するまち
施策の大綱【政策】	3:環境への負荷が少ない持続可能なまちづくり
分野	43:循環型社会
具体的な施策【施策】	99:ごみの減量化及び資源化の推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・八代市環境センターの運用に合わせた啓発活動内容の見直しを行います。 ・八代市環境センターでは、ごみ処理施設内部を見学しながら学習できるように整備しており、来場者（主に小学生、中学生）のごみに関する意識向上を図っていきます。

1	担当課かい名	市民環境部 循環社会推進課
	現状（進捗状況）	定期的な折込チラシ発行に加え、エコイトやつしろ（八代市環境センター）施設見学のほか、出前講座、環境学習講師派遣などの環境学習を開催し、再資源化とごみ減量化に関する啓発に努めた。
	施策の進捗度	C（進捗について課題がある）
	課題	コロナ禍の影響で令和2年度以降、施設見学の受入れや出前講座を中止したことで環境学習機会が減少している。また、燃えるごみの処理量に関しては、新たな処理施設へ移行したことによる処理工程の違いや、コロナ禍における新しい生活様式の定着など、平成30年度以前と単純に比較することの出来ない要因がある。
	第2期計画の方向性	再資源化とごみの減量化への市民の関心を高めるため、環境学習の拠点であるエコイトやつしろの施設見学をはじめ、出前講座や環境学習派遣事業等により、子供からお年寄りまでの広い世代を対象とする学習機会を設ける。国や県、市内の感染状況の把握に努め、感染防止対策を図るとともに、新しい生活様式も意識した内容の啓発を行う。
	備考・コメント	リサイクル率については、令和元年度から環境省が示す集団回収量を加えた算出式を用いていることと、新たな処理施設では焼却灰をセメント原料化していることから、今後も実績が計画を上回るものと想定される。

2	担当課かい名	市民環境部 環境センター管理課
	現状（進捗状況）	八代ソイル（JAやつしろ）において樹木剪定くずリサイクル事業を実施している。市民への周知度も向上しており、搬入量（処理量）も増加傾向にある。
	施策の進捗度	S（着実に進捗している）
	課題	処理に必要な機械類の更新
	第2期計画の方向性	焼却処理量の抑制、環境センターへの負担軽減などの点から当該事業を継続していくとともに、周知度向上のための啓発も続けていく。 また、剪定くずの受け入れ先を複数確保しておく観点からも、本事業を継続していく。
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
	備考・コメント	

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	5:人と自然が調和するまち
施策の大綱【政策】	3:環境への負荷が少ない持続可能なまちづくり
分野	43:循環型社会
具体的な施策【施策】	100:廃棄物処理施設などの整備
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・八代市環境センターは、適切な点検・補修・メンテナンスを行い、機器の健全度を維持し、長期間の使用が可能となるよう努めます。 ・八代市清掃センターは、閉鎖後、管理を行いながら解体時期や解体方法について検討します。

1	担当課かい名	市民環境部_環境課
	現状（進捗状況）	<p>衛生処理センターでは、施設の延命化及び耐震化を図るため、令和元年度に主要機器の更新を行い、その後は適切な点検・補修・メンテナンスを行った。</p> <p>浄化槽汚泥処理施設では、長期間の使用が可能となるよう計画的に適切な機器点検・補修・メンテナンスを行った。</p> <p>新たなし尿処理施設の整備については、「環境施設に関する庁内検討会」において、他の汚水処理施設との共同処理に関する検討を行った。</p>
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	衛生処理センターは老朽化していることから、新たなし尿処理施設を早急に整備する必要がある。
	第2期計画の方向性	浄化槽汚泥処理施設及び老朽化している衛生処理センターを適切に維持管理しつつ、新たなし尿処理施設を早急に整備する。
備考・コメント		

2	担当課かい名	市民環境部_環境センター管理課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> ・八代市環境センターについては、適切な点検・補修・メンテナンスを行い、運営を行っている。 ・閉鎖した八代市清掃センターは、解体時期や解体方法について検討を行っている。
	施策の進捗度	S（着実に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、八代市清掃センターの解体計画が進むについて、関連する業務量が増大が想定されており、人員増など必要な対策を行う必要がある。
	第2期計画の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・八代市環境センターについては、現在の長期的なメンテナンスをベースに、設備の使用頻度などを考慮した計画の微調整を行いながら、施設の安定稼働を行っていく。 ・八代市清掃センターの解体については、解体に関するスケジュールが決定した際には、詳細な解体計画を作成し、確実な履行を行う。
備考・コメント		

第2次八代市総合計画第1期計画進捗確認・検証シート

基本目標	5:人と自然が調和するまち
施策の大綱【政策】	3:環境への負荷が少ない持続可能なまちづくり
分野	43:循環型社会
具体的な施策【施策】	101:廃棄物の適正処理の推進
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統一化した分別基準とさらなる資源分別の周知を図り、これまで以上の分別精度を目指します。 ・ 不法投棄の監視業務やルートを改善します。

1	担当課かい名	市民環境部_循環社会推進課
	現状（進捗状況）	不法投棄監視指導員2名（警察OB）を雇い、市内の巡回パトロールを実施し、不法投棄や野焼きの現場確保や原因者への指導を行うとともに未然防止強化のために廃棄物の適正処理について、ホームページ等で周知している。また、敷川内保全用地や最終処分場施設周辺においては、現状で環境保全上影響が及んでないか確認するための採水調査や除草、土砂浚渫を行っている。
	施策の進捗度	C（進捗について課題がある）
	課題	不法投棄は、原因者の特定が困難であり、巡回パトロール中に不法投棄の場面に遭遇するものも稀なことから、事案の減少を図るには市民全体に不法投棄に関する周知を継続して行う必要がある。最終処分場周辺調査等は、調査結果を基に地域住民に説明会で環境保全に関する理解を得ながら、処分場が管理終息するまで事業を継続していく必要がある。敷川内保全用地は長期間の保安全管理が必要であるが、基金により運用しており残金に限りがあることから、歳出削減を図る事業手法を用いること。
	第2期計画の方向性	不法投棄や野焼き事案の件数を減少させるために、巡回パトロールによる指導強化を図るとともに、それぞれの事案を発見した場合の措置や法令に基づいた土地管理者としての管理責任など、市民に向けた周知を更に強化していく。
備考・コメント		

2	担当課かい名	市民環境部_環境センター管理課
	現状（進捗状況）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境センターの稼働開始により処理施設を一本化したことにより、市内全域が統一化した分別基準となった。 ・ 市民に対し、資源分別の周知を継続して行っている。
	施策の進捗度	A（概ね順調に進捗している）
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不適正排出が恒常化している集積所が増加しており、指導強化のための施策の検討が必要となっている。 ・ 資源物の収集の際に、異物・禁忌品の混入が一定数あり、指導強化のための施策の検討が必要となっている。
	第2期計画の方向性	・ リサイクル率の向上のため、市民に対し、資源分別の周知を継続して行っていく。
備考・コメント		

3	担当課かい名	
	現状（進捗状況）	
	施策の進捗度	
	課題	
	第2期計画の方向性	
備考・コメント		